

# 大和証券グループCSR活動のあゆみ

## 2010年

5月	大和証券が「世界を変えるデザイン展」に特別協賛 地球温暖化対策の柱となる再生可能エネルギーやエネルギー効率化プロジェクトを支援する「エコロジー・ボンド」の売出・販売 「TBLI コンファレンス・アジア2010」に当社グループからパネリスト2名が参加
4月	アジア・太平洋地域における水関連事業を支援する「ウォーター・ボンド」を売出・販売
3月	「ワクチン債」を売出・販売 「ダイワ・ウォーター・フォーラム2010」を開催 ダイワ・ウォーター・フォーラム2010」を開催 大和総研・経営戦略研究所セミナー「低炭素時代における社会・経済・企業経営を考えるー地球規模の変革にどう向き合うかー」を開催
2月	地球温暖化問題に取り組むプロジェクトに投資する「グリーン世銀債」を売出・販売 国家プロジェクトである「がん検診企業アクション」の推進パートナー参加登録
1月	国連グローバルコンパクト(GC)に加盟

## 2009年

12月	日本経済新聞社より「につけい子育て大賞」を受賞
11月	債券投資を通じて貧困問題の解決に寄与する「マイクロファイナンス・ボンド」を売出・販売 「第3回ワーク・ライフ・バランス大賞」において「優秀賞(組織活動部門)」を受賞
10月	厚生労働省発表の「均等・両立推進企業表彰」均等推進企業部門で「厚生労働大臣優良賞」を受賞 環境・気候変動をテーマに行われた国際協カイベント「グローバルフェスタJAPAN2009」に協賛 「ダイワ・マイクロファイナンス・フォーラム2009 ～貧困からの脱却と地域社会の発展～」を開催
9月	日本経済新聞、日経産業新聞「働きやすい会社2009」ランキングにて、証券業界最高の第7位を、「子育てに配慮した職場づくり」部門においては第3位を獲得 SRI指数「Dow Jones Sustainability World Indexes」(DJSI World)の構成銘柄として11年連続で採用
7月	大和証券投資信託委託が、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)にメンバーとして参画

5月	中国・四川大地震の被災地復興にむけた寄付活動が評価され、中国児童少年基金会の上部団体「中華全国婦女連合会」から「中国児童慈善賞」を受賞 「TBLI コンファレンス・アジア2009」に当社グループからパネリスト1名が参加
4月	グループ新中期経営計画「“Passion for the Best” 2011」を発表 グループ社員が育児・介護について相談できる「ダイワ育児・介護サポートデスク」を設置 「持続可能性報告書2008」が東洋経済新報社主催の「第12回サステナビリティ報告書賞／優良賞」を受賞
2月	日本での第2回「ワクチン債」を売出・販売 環境関連の技術を有する日本企業に投資する「次世代環境ビジネス・ファンド」販売を開始
1月	当社グループがメインスポンサーとなる「日本経済教育協議会(JCEE)」を設立

## 2008年

12月	「ダイワ・エネルギーテクノロジー・ファンド(限定追加型)」販売を開始
10月	大和証券ビジネスセンターが、東京都雇用開発協会木場支部「平成20年度 障害者雇用優良事業所 優秀勤労障害者表彰式」において表彰
9月	日本経済新聞「働きやすい会社2008」ランキングで、証券業界では最高の第14位を獲得
8月	グループ全社で家族の職場訪問を実施
7月	中国・四川大地震の被災地復興支援のため、甘粛省南部の小学校建設費用に約2400万円を寄付 岩手・宮城内陸地震の被災地復興支援のため、両県の共同募金会に600万円を寄付
6月	「子育てサポート認定事業主マーク」(愛称「くるみん」)を取得 「排出権価格連動クーポン付米ドル建債権(ワールドクールボンド)」を売出・販売
5月	北京大学において大和証券グループ寄付講座を開設 京都大学のiPS細胞研究の事業化支援に合意
4月	東京大学において「大和証券グループ アジア留学生奨学基金」を創設 環境テクノロジーに注目し世界の環境関連企業に投資する「ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド」の販売を開始 「ワーク・ライフ・バランス推進委員会」「ワーク・ライフ・バランス推進室」を設置 厚生労働省「仕事と生活の調和推進モデル事業」に参加 日経WOMAN「女性が働きやすい会社Best100」ランキングで、総合で証券業界最高となる第7位、女性活用度については第1位を獲得
3月	日本初の「ワクチン債」を売出・販売 「世界の未来を担う子どもたちへ～ワクチン債が支える予防接種～」を開催 社員の相互理解を深め、当グループで働く全員が価値観を共有するための一助となることを目的に、基本的な考え方や心構えを明文化した「大和スピリット」を策定

2月	グループ本社が国連開発計画(UNDP)東京事務所、世界銀行、コンサベーション・インターナショナル・ジャパン(CIジャパン)が共催した、地球環境シンポジウムに特別協賛
	大和証券SMBCと大和総研が「地球温暖化問題と低炭素社会構築にむけて産業界に求められることーエコイノベーションー」を開催

## 2007年

11月	世界自然遺産地域環境保全型ビジネス支援プログラム(WH-LEEP)の一環として、NGOコンサベーション・インターナショナル(CI)と協力して、「ダイワCI 生物多様性保全基金(DCBCF)」を創設
9月	中国での4つの温室効果ガス排出削減プロジェクトが日本政府より承認
8月	大和証券投資信託委託が「地球環境株・外債バランス・ファンド(愛称:地球くん)」と「地球環境株ファンド(愛称:環境くん)」を設定
7月	地球温暖化対策への取組みとしてグループ全社でクールビズを実施
5月	大和証券が、お客様向け環境セミナー「ダイワの環境フォーラム2007~いま地球に何が起きているのか~」を開催
4月	「持続可能性報告書2006」が東洋経済新報社主催の「第10回サステナビリティ報告書賞/優良賞」を受賞
	個人投資家向けCSRセミナー「投資の新潮流-持続的成長企業を探る」を開催
2月	「持続可能性報告書2006」が(財)地球・人間環境フォーラム主催の「第10回持続可能性報告優秀賞(理事長賞)」を受賞
1月	大和証券グループが「Global 100(世界で最も持続可能な企業トップ100)」に選出
	世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)に出席

## 2006年

11月	「持続可能性報告書2005」が国際比較調査(グローバルレポートズ2006)において、34位(日本企業1位)にランキング
10月	「キッザニア東京」の協賛スポンサーとして「ビジネス・スクール」パビリオンを出展
	「ダイワ・エコ・ファンド」の助成プログラムとして、環境NPOジャパン・フォー・サステナビリティと「ダイワJFS・青少年サステナビリティ・カレッジ」を開設
9月	SRI指数「FTSE4グッド・インデックス」構成企業として採用(以降連続して採用※2010年3月レビュー現在)
5月	大和証券投資信託委託が「責任投資原則(PRI)」に署名
4月	CSRのグループ基本戦略を含む中期経営計画「Passion for the Best 2008」を発表
	「持続可能性報告書2005」が東洋経済新報社主催の「第9回サステナビリティ報告書賞/優良賞」を受賞

2月	「クールボンド」を開発 「ダイワ・エコ・ファンド」の販売を開始
1月	「持続可能性報告書2005」が(財)地球・人間環境フォーラム主催の「第9回持続可能性報告大賞(環境大臣賞)」を受賞

## 2005年

11月	NPOスタッフの育成のための「ダイワSRIファンド」助成プログラムを開始
10月	大和証券が、報告書電子交付一括申込を行うダイワの「eメンバー」サービスを開始
7月	金融および投資家の視点からサステナビリティレポートの有用性を考えるため、GRI改訂(G3)の作業グループに大和証券投資信託委託が参加
6月	ジュニア・アチーブメント日本が提供する体験型経済教育プログラム「ファイナンス・パーク」へ特別協賛 「女性起業家支援プロジェクト」を開始
2月	スマトラ沖地震・インド洋津波の被災地への長期支援を決定(「大和証券グループ津波復興基金」) 大和証券が「帳票類電子化プロジェクト」を開始

## 2004年

11月	「国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)」に加盟
10月	大和証券グループ 従業員向け確定拠出型年金にSRIファンドを採用
7月	グループ本社に「CSR室」を設置
6月	委員会等設置会社へ移行
5月	国内企業に投資するSRI投資信託「ダイワSRIファンド」の販売を開始
3月	「ディスクロージャー・ポリシー」を制定 大和証券グループ本社がカーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)に署名
1月	CSR/ブランド経営ウェブサイト開設

## 2003年

11月	社会的責任投資フォーラム(SIF-Japan)に加入
10月	ジュニア・アチーブメントが提供する体験型経済教育プログラム「スチューデントカンパニー・プログラム」への支援を開始 グローバル企業に投資するSRI投資信託「UBSグローバル株式40」の販売を開始
7月	大和証券SMBCプリンシパル・インベストメンツが世界銀行カーボン・ファンド「地域開発炭素基金」に出資

6月	グループ本社の取締役・監査役報酬の総額を開示
4月	新しい株主優待制度を開始
3月	新しいグループ中期経営計画(2003~2005年度)を策定
2月	グループ本社に「経営監査部」設置
1月	グループ横断的な「企業倫理ホットライン」(内部通報制度)導入